

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第336回

サミュエル・スマイルズ

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年12月30日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

He who never made a mistake
never made a discovery.

間違いを犯さなかったものは

決して何かを発見したことはない。

サミュエル・スマイルズは、英国の作家、医者。スコットランド・ハディントン生まれ。当初エディンバラで医者を開業したが、後に著述に専念するようになった。



Column

今年も残すところあと1日となりました。みなさんにとって2022年はどんな年でしたか？私にとっては両極端の感情を抱く出来事があった心境のアップダウンの激しい年だったという印象です。歓喜（アップ）の瞬間が先にあったので悲劇（ダウン）の瞬間の印象がかなり強く残ってしまった部分があります。それは間違いということではありませんでしたが、失意のどん底の中で人の持つパワーを感じることができたのは“今回の言葉そのまんまだな”と思いました。

今年を振り返ってみなさんは数多くの挑戦をしてきたことと思います。その結果が自分の中で○のものも×のものも結果がまだ出ていないものもあると思います。サミュエル氏は今回の言葉に『間違いを恐れず挑戦して多くの発見をしてほしい』という気持ちを込めているはずです。わざと間違える必要はありませんが、間違えるということは“これは違う”というひとつのデータとして得ることができます。間違えずに正解を導き出すことも素晴らしいことですが、多くの間違いを経験することで消去法的に正解にたどり着くこともあります。むしろそのように苦労してたどり着いた正解（成功）の方が大きな自信を与えてくれるのではないのでしょうか。それだけ多くの挑戦をするということでもありますからアプローチもワンパターンではなく、バラエティに富んだものになることが予想されます。結果として間違いになろうと正解になろうと、その方がプロセスの中にも多くの発見がありそうでワクワクしませんか？家までのルートで回り道してでも通りたいキレイな花が咲いているゾーンがあるかもしれません。それは道を間違えるというひとつのミスによって発見に至ったのであればむしろそれは正解なのではないのでしょうか。人生とは生身の人間が挑戦するライブでありノンフィクションのドキュメンタリーです。“ある意味正解”ということが大きな財産になることもあります。来年も挑戦と発見の多い1年を過ごしてほしいと思います。それではみなさん良いお年をお迎えください！